

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	がん専門薬剤師による化学療法支援効果の検討		
2. 対象患者	以下の期間に、弘前大学医学部附属病院において入院または外来でがん化学療法を受けた患者さん		
3. 対象となる期間	2015年 1月 1日 ~ 2023年 12月 31日		
4. 実施診療科等	薬剤部		
5. 研究責任者	氏名	細井 一広	所属 薬剤部
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	がん専門薬剤師によるがん化学療法支援業務が、患者さんのお薬の治療にどの程度役に立っているか自己評価することで、より良いがん薬物療法の支援チーム活動に繋がると考えています。		
8. 研究の目的	がん薬物療法支援チームにおけるがん専門薬剤師の活動が、服薬アドヒアランスの向上、副作用の発現抑制および治療に係わる薬剤費抑制に、どの程度影響を及ぼすか、過去に遡って検討します。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	<p>1) 抗がん剤の副作用発現に、がん専門薬剤師による化学療法施行前レジメン・検査値チェックが役にたっているか検討します。</p> <p>2) がん患者さんの服薬アドヒアランス遵守に、がん専門薬剤師による服薬指導が役にたっているか検討します。</p> <p>3) がん治療に必要となる薬剤の費用の抑制に、がん専門薬剤師による抗がん剤混注業務が役にたっているか検討します。</p> <p>上記の検討を行うために、患者さんの以下のカルテ情報を使用します。 年齢、性別、体重、検査値、治療抗がん剤名、用法用量、投与期間、併用薬、副作用発現状況など</p>		
10. 個人情報の保護	対象患者さんの情報は、個人が特定されない形に匿名化された後、データベース化され、個人と匿名化ID番号の対応表と共に、当院薬剤部に設置されている外部から閲覧できないパソコン内で厳重に管理されます。得られた知見は、学会や論文で発表しますが、個人情報が公表されることはありません。本研究内容については、当院のホームページ上で公開しており、参加を希望されない患者さんは、いつでも申し出ることが可能です。		
11. 利益相反に関する状況	本課題の共同研究者が所属する講座は、帝人ファーマ(株)、大塚製薬(株)、(株)大塚製薬工場、第一三共(株)、武田薬品工業(株)、協和キリン(株)から寄付金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は当院薬剤部の研究グループによって公正に実施されます。なお、この研究の利害関係については、弘前大学臨床研究利益相反マネジメント委員会へ届け出ております。		
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院 薬剤部 細井 一広		
	電話	0172-39-5302	FAX 0172-39-5303